#### 平成15年3月期 個別財務諸表の概要



平成15年5月15日

会 社 名 理想科学工業株式会社

コード番号 6413

登録銘柄

本社所在都道府県 東京都

(URL http://www.riso.co.jp)

代 表 者 役 職 名 代表取締役社長

決算取締役会開催日 平成15年5月15日

定時株主総会開催日 平成15年6月27日

氏名 羽山 明

問い合わせ先 責任者役職名 取締役経理部長 氏名 斎田 知男 TEL(03)5441-6604

中間配当制度の有無

単元株制度採用の有無 有(1単元100株)

#### 1.15年3月期の業績(平成14年4月1日~平成15年3月31日)

#### (1) 経営成績 (百万円未満切捨て)

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益
	百万円 %	百万円 %	百万円 %
15年3月期	65,247 ( 0.3)	6,929 ( 21.0)	6,474 ( 22.8)
1 4 年 3 月期	65,047 ( 3.7)	5,728 ( 71.5)	5,272 ( 45.1)

	当 期 純	利益	1 株当 当期純	たり	潜在株式1株当たり当		株主資本 当期純利益率	総 資 本経常利益率	売 上 高 経常利益率
	百万円	%	円	銭	円	銭	%	%	%
15年3月期	3,070 (	53.6)	217	76	207	12	4.9	6.3	9.9
14年3月期	1,998 (	7.9)	138	67	133	18	3.2	4.8	8.1

(注) 1.期中平均株式数

15年3月期 13,870,469株 14年3月期 14,415,467株

1. 期中半均株式数152. 会計処理の方法の変更有

3. 売上高、営業利益、経常利益、当期純利益におけるパーセント表示は、対前期増減率

#### (2) 配当状況

		1 1	株当たり	年間配当	金		配当金総額	配当性向	株主資本
			中	間	期	末	(年間)	的当注的	配当率
	円	銭	円	銭	円	銭	百万円	%	%
15年3月期	55	00	-	-	55	00	745	25.3	1.2
1 4 年 3 月期	50	00	-	-	50	00	702	35.2	1.1

#### (3) 財政状態

<u> </u>				
	総資産	株主資本	株主資本比率	1株当たり株主資本
	百万円	百万円	%	円 釒
15年3月期	100,153	62,989	62.9	4,642 24
14年3月期	103,855	61,892	59.6	4,404 15

(注) 1. 期末発行済株式数

15年3月期 13,557,931株 14年3月期 14,053,166株

2. 期末自己株式数

15年3月期

468,569株

14年3月期 473,334株

#### 2.16年3月期の業績予想(平成15年4月1日~平成16年3月31日)

	売 上 高	<b>奴</b> 台到共	経常利益 当期純利益		1株	当たり	年間配	当金	
	九 工 同	能力小皿	当规范利血	中	間	期	末		
	百万円	百万円	百万円	円	銭	円	銭	円	銭
中間期	28,700	1,460	840	-	-	-	-	-	-
通期	63,800	4,460	2,550	-	-	55	00	55	00

(参考) 1 株当たり予想当期純利益(通期) 188 円 08 銭

上記の予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報及び将来の業績に影響を与える不確実な要因による本資 料発表日現在における仮定を前提としています。実際の業績は、今後様々な要因によって大きく異なる結果となる 可能性がありますことをご承知おきください。

# (7)個別財務諸表等

貸借対照表 (単位:百万円)

	(平成14	第48期 年 3 月31日現	在)	(平成15	第49期 年 3 月31日現	在)	増減
区分	金	額	構成比 (%)	金	額	構成比 (%)	金額
(資産の部)     流動資産     1 . 現金及び預金     2 . 受掛金    4 . 可換量    4 . 可换量    4 . 可以更多的    4 . 可以更多可以更多的    4 . 可以更多的    4 . 可以更多可以更多可以更多可以可以可以可以可以可以可以可以可以可以可以可以可以可以	12,928 7,249 1,217 914 4,691 3,870 117 103		構成比	12,942 7,556 1,224 954 4,442 3,719 112 97		構成比	
(5) 工具備品 減価質別 (6) 営業用資産 減価質累計額 (7) 土地 (8) 建設仮勘定 有形固定資産 (1) 建設仮勘定 有形固定資産 (1) その世 (2) ソその世 資子の他 (2) サーマ (3) その間子の有価は (4) 関係会会では (5) 長業員のでする。 (6) 従業のででは、 (7) 破産のが、 (7) 破産のが、 (8) 長期業員にない。 (10) 差の他の記述を (11) そのでは、 (11) そのでは、 (11) そのでは、 (12) といいでは、 (13) といいでは、 (14) といいでは、 (15) といいでは、 (16) といいでは、 (17) をはいいでは、 (17) をはいいでは、 (18) といいでは、 (19) をのは、 (11) そのでは、 (11) そのは、 (11) といいでは、 (11) といいでは、 (12) といいでは、 (12) といいでは、 (13) といいでは、 (14) といいでは、 (15)	15,861 13,959 9,336 5,256	1,902 4,079 14,898 82 27,779 0 1,027 59 1,087 8,915 6,324 2 3,046 185 145 203 51 1,621 1,353 1,707 204 23,353 52,220 103,855	26.8 1.0 22.5 50.3 100.0	14,215 13,106 10,515 6,488	1,109 4,027 14,898 1,939 28,368 0 1,097 53 1,151 2,517 6,413 2 3,076 137 146 186 44 2,119 1,313 1,802 186 17,572 47,092 100,153	28.3 1.2 17.5 47.0 100.0	793 51 - 1,856 589 0 69 5 64 6,397 88 - 30 48 0 17 7 498 40 95 17 5,781 5,128 3,701

	第48期 (平成14年 3 月31日現在		在)	(平成15	第49期 (平成15年3月31日現在)		増減
区分	金	額	構成比 (%)	金	額	構成比 (%)	金額
(負債の部) (負債の部) (負債の部) (力量を担ける。 (力量を対した。) (力量を対し、) (力量を対し、) (力量を対し、) (力量を対し、) (力量を力を力を力を力を力を力を力を力を力を力を力を力を力を力を力を力を力を力を	4,078 10,000 2,100 3,524	5,258 10,180 5 2,826 255 1,286 62 395 1,344 187 149 21,952 17,153 119 1,877 859 20,010 41,963 14,114 14,779 3,528	21.1 19.3 40.4 13.6 14.2 3.4		3,493 7,110 5 2,427 63 1,791 130 335 1,344 41 49 16,792 17,084 126 2,241 919 20,371 37,164	20.3 37.1	1,764 3,069 0 399 192 505 68 60 0 146 100 5,159 69 6 363 59 361 4,798 14,114 14,779 3,528
2 . 当期未処分利益 その他の剰余金合計 その他有価証券評価差額金 自己株式 資本合計 資本金 資本金 資本銀余金 1 . 資本準備金	5,027	11,494 31,197 409 1,317 61,892	30.1 0.4 1.3 59.6	14,779	- - - - 14,114	- - - - 14.1	11,494 31,197 409 1,317 61,892 14,114
資本剰余金合計 利益剰余金 1.利益準備金 2.任意積立金 (1)海外市場開拓積立金 (2)設備拡充積立金 (3)為替変動積立金 (4)別途積立金 3.当期未処分利益 利益剰余金合計 その他有価証券評価差額金 自己株式	-	- - -		3,528 4,078 10,000 2,100 10,524 5,335	35,567 69 1,402	35.5 0.1 1.4	35,567 69 1,402
資本合計 負債資本合計		103,855	100.0		62,989 100,153	62.9 100.0	62,989 3,701

損益計算書 (単位:百万円)

	第48期 (自 平成13年4月1日 至 平成14年3月31日)			第49期 (自 平成14年4月1日 至 平成15年3月31日)			増減
区分	金	額	構成比 (%)	金	額	構成比 (%)	金額
売上高		65,047	100.0		65,247	100.0	199
売上原価 1 . 製品・商品期首たな卸高 2 . 当期製品製造原価 3 . 当期商品仕入高 4 . 他勘定受入高 5 . 製品保証引当金繰入額	4,373 28,528 5,755 3,932 215			4,312 26,715 6,231 3,759 0			
合計 6.他勘定振替高	42,804 2,805			41,017 2,553			
7.製品・商品期末たな卸高	4,312	35,687	54.9	3,619	34,844	53.4	843
売上総利益		29,360	45.1		30,403	46.6	1,043
販売費及び一般管理費 営業利益		23,632 5,728	36.3 8.8		23,474 6,929	36.0 10.6	157 1,200
営業外収益 1.受取利息 2.有価証券利息 3.受取配当金 4.受取保険返戻金	50 59 14	0,120	0.0	15 4 13 41	0,020	10.0	1,200
5.投資有価証券売却益	-			58			
6 . 為替差益 7 . その他	6 206	335	0.5	- 256	389	0.6	53
営業外費用 1.支払利息 2.社債利息 3.投資有価証券売却損 4.為替差損	10 445 118		0.0	10 257 - 415		0.0	
5 . その他	217	791	1.2	161	844	1.3	52
経常利益 特別利益		5,272	8.1		6,474	9.9	1,201
1.貸倒引当金戻入益	170	170	0.3	-	-	-	170
特別損失 1.投資有価証券評価損 2.関係会社株式評価損	1,568 246	4 045	2.8	890	900	1.4	924
2.1	Z40	1,815 3,628	2.8 5.6	-	890 5,583	8.5	1,955
法人税、住民税及び事業税 法人税等調整額	2,131 502	1,629	2.5	3,253 740	2,512	3.8	883
当期純利益		1,998	3.1		3,070	4.7	1,071
制制繰越利益 利益による自己株式消却額		9,668 172			3,761 1,496		5,906 1,323
利益による自己体式/月型額 当期未処分利益		11,494			5,335		6,158

利益処分(案) (単位:百万円)

	第48 (平成14年 定時株主		第49期 (平成15年 6 月27日 定時株主総会決議)		
区分	金額		金	額	
当期未処分利益 利益処分額 1.配当金 2.取締役賞与金 3.別途積立金 次期繰越利益	702 30 7,000	7,732 3,761	745 50 1,000	5,335 1,795 3,539	

### 重要な会計方針

項目	第48期 (自 平成13年4月1日 至 平成14年3月31日)	第49期 (自 平成14年4月1日 至 平成15年3月31日)
1 . 有価証券の評価基準及び評価方法	(1) 子会社株式及び関連会社株式 移動平均法による原価法 (2) その他有価証券 時価のあるもの 期末日の市場価格等に基づく時価法 (評価差額は全部資本直入法により処理 し、売却原価は移動平均法により算定) 時価のないもの	(1) 子会社株式及び関連会社株式 同左 (2) その他有価証券 時価のあるもの 同左 時価のないもの
	移動平均法による原価法	同左
2 . デリバティブ等の評価基準 及び評価方法	(1) デリバティブ 時価法	(1) デリバティブ 同左
3.たな卸資産の評価基準及び 評価方法	製品・商品、原材料、仕掛品 移動平均法による原価法 貯蔵品 最終仕入原価法による原価法	製品・商品、原材料、仕掛品 同左 貯蔵品 同左
4 . 固定資産の減価償却の方法	(1) 有形固定資産 建物(建物附属設備を除く)については、定 額法を、建物以外の有形固定資産については 定率法を採用しております。	(1) 有形固定資産 同左
	(2) 無形固定資産 定額法を採用しております。 なお、ソフトウェア(自社利用分)につい ては、社内における利用可能期間(5年間) に基づく定額法によっております。	(2) 無形固定資産 同左
5 . 引当金の計上基準	(1) 貸倒引当金 売上債権、貸付金等の貸倒損失に備えるため、一般債権については貸倒実績率により、 貸倒懸念債権等特定の債権については個別に 回収可能性を勘案し、回収不能見込額を計上 しております。	(1) 貸倒引当金 同左
	   (2)	(2) 賞与引当金
	従業員賞与の支給に備えるため、賞与支給 見込額に基づき計上しております。	同左
	   (3)  製品保証引当金	(3) 製品保証引当金
	保証期間内製品の補修部品費用の支出に備 えるため、過去の実績に基づき、発生見込額 を計上しております。	同左
	(4) 退職給付引当金 従業員の退職給付に備えるため、当事業年 度末における退職給付債務及び年金資産の見 込額に基づき計上しております。 数理計算上の差異は各事業年度の発生時に おける従業員の平均残存勤務期間以内の一定 年数(15年)による定率法により算定した額 をそれぞれ発生の翌事業年度から費用処理す ることとしております。	(4) 退職給付引当金 同左

	T	
項目	第48期 (自 平成13年4月1日 至 平成14年3月31日)	第49期 (自 平成14年4月1日 至 平成15年3月31日)
	(5) 役員退職慰労引当金 役員の退職慰労金の支給に備えるため、内 規に基づく期末要支給額を計上しておりま す。	(5) 役員退職慰労引当金 同左
6 . リース取引の処理方法	リース物件の所有権が借主に移転すると認められるもの以外のファイナンス・リース取引については、通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理によっております。	同左
7.ヘッジ会計の方法	(1) ヘッジ会計の方法 繰延ヘッジ処理を採用しております。な お、為替予約について振当処理の要件を満た している場合は振当処理を採用しておりま す。	(会計処理の変更)  従来、為替予約について振当処理の要件を満たしている場合は振当処理を行っておりましたが、当事業年度より「金融商品に係る会計基準」による原則的処理、すなわち、ヘッジ対象である外貨建金銭債権債務を改訂外貨基準の原則に従い決算日レートで換算する処理へ変更しました。 この変更は、特例として認められた処理方法である振当処理から原則的な処理方法へ変更したものであり、個別財務諸表と連結財務諸表におけるヘッジ会計に関する損益の整したものであり、企業の財務内容をより実情に即して表示するために行ったものであります。 この変更により経常利益及び税引前当期純利益の金額は2百万円増加しております。
	(2) ヘッジ手段と対象 外貨建債権債務に係る為替リスク回避のための為替予約及び通貨オプション取引 (3) ヘッジ方針 外貨建債権債務に係る為替相場変動によるリスク回避のため、実需の範囲内でデリバティブ取引を利用しており、投機的なデリバティブ取引は行っておりません。デリバティブ取引については、社内規則に従って管理を行っております。 (4) ヘッジ有効性評価の方法 ヘッジ開始時から有効性判定時点までの期間において、ヘッジ対象とヘッジ手段の相場変動の累計を比較し、両者の変動額等を基礎にして判断しております。	
8 . その他財務諸表作成のため の基本となる重要な事項	(1) 消費税等の会計処理 消費税及び地方消費税の会計処理は、税抜 方式によっております。	(1) 消費税等の会計処理 同左

項目	第48期 (自 平成13年 4 月 1 日 至 平成14年 3 月31日)	第49期 (自 平成14年4月1日 至 平成15年3月31日)
		(2) 自己株式及び法定準備金の取崩等に関する会計基準 「自己株式及び法定準備金の取崩等に関する会計基準」(企業会計基準第1号)が平成14年4月1日以後に適用されることになったことに伴い、当事業年度より同会計基準によっております。これによる当事業年度の損益に与える影響はありません。なお、財務諸表等規則の改正により、当事業年度における貸借対照表の資本の部については、改正後の財務諸表等規則により作成しております。  (3) 1株当たり当期純利益に関する会計基準
		「1株当たり当期純利益に関する会計基準」(企業会計基準2号)及び「1株当たり当期純利益に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第4号)が平成14年4月1日以後開始する事業年度に係る財務諸表から適用されることになったことに伴い、当事業年度より同会計基準及び適用指針によっております。なお、これによる影響については、「1株当たり情報に関する注記」に記載しております。

### (表示方法の変更)

第48期	第49期
(自 平成13年4月1日	(自 平成14年4月1日
至 平成14年3月31日)	至 平成15年3月31日)
(営業用資産)	(受取保険返戻金)
前事業年度まで「工具器具備品」に含めて表示しておりました「営業用資産」は、重要性が増したため区分掲記することに変更しました。	前事業年度まで営業外収益の「その他」に含めて表示しておりました「受取保険返戻金」は、営業外収益の合計額の100分の10を超えることとなったため区分掲記することに変更しました。なお、前事業年度における「受取保険返戻金」の金額は28百万円であります。

### (追加情報)

第48期	第49期
(自 平成13年4月1日	(自 平成14年4月1日
至 平成14年3月31日)	至 平成15年3月31日)
(自己株式) 前事業年度において資産の部に計上していた「自己株式」 (流動資産 0百万円)は、財務諸表等規則の改正により当事業 年度末においては資本の部の末尾に表示しております。	

#### 注記事項

## (貸借対照表関係)

項目	第48期 (平成14年 3 月31日現在)		第49期 (平成15年 3 月31日現在)	
1 . 偶発債務	2,486 百万円		2,683 百万円	
関係会社の金融機関からの借入 金に対する債務保証				
被保証先				
RISO FRANCE S.A.		500千ユーロ (58百万円)	922千ユーロ (119百万円)	
RISO EUROPE LTD.		1,183千英ポンド (224百万円)	1,024千英ポンド (133百万円)	
珠海理想科学工業有限公司		130,000千人民元 (1,848百万円)	95,000千人民元 (1,378百万円)	
RISOGRAPH ITALIA S.p.A.	516千ユーロ (59百万円)		1,177千ユーロ (152百万円)	
RISO AFRICA(PTY)LTD.		25,000千ランド (295百万円)	45,000千ランド (682百万円)	
RISO IBERICA,S.A.			1,517千ユーロ (197百万円)	
(株)アヴニール			20百万円	
<ul><li>2.授権株式数及び発行済株式総数 授権株式数 発行済株式総数</li></ul>		34,420,000 株 14,526,500 株	普通株式 33,920,000 株 普通株式 14,026,500 株	
3 . 発行済株式総数の増加及び減少		90,000 株	500,000 株	
	上記の減少数は、利 却によるものであり、 百万円であります。		上記の減少数は、利益による自己株式消却によるものであり、当該取得価額は1,496百万円であります。	
4.自己株式 株式数			普通株式 468,569 株	
5 . 関係会社に対する短期金銭債権	受取手形及び売掛金	6,452 百万円	受取手形及び売掛金 6,404 百万円	
6.期末日満期手形	期末日満期手形の会計処理は、手形交換 日をもって決済処理をしております。			
	なお、当事業年度末は金融機関の休日で あったため、次の期末日満期手形が期末残 高に含まれております。			
	受取手形	378 百万円		
	支払手形	1,057 百万円		
	設備支払手形	31 百万円		

### (有価証券関係)

前事業年度末及び当事業年度末のいずれにおいても子会社株式及び関連会社株式で時価のあるものはありません。

### (税効果会計関係)

貸倒引当金繰入超過額否認       57 "       貸倒引当金繰入超過額否認       71         買与引当金繰入超過額否認       382 "       賞与引当金繰入超過額否認       474         試験研究費否認       335 "       試験研究費否認       454         退職給付引当金繰入超過額否認       581       役員退職慰労引当金否認       581         その他有価証券評価差額金       297 "       投資有価証券評価損       747         その他       1,187 "       その他有価証券評価差額金       47         その他集延税金資産合計       629         繰延税金資産合計       3,541 百万円         全の他表運費の原因       2.3       大法定実効税率と税効果会計適用後の法人税等の負担率をの差異の原因         法定実効税率       42.1%       法定実効税率と税効果会計適用後の法人税等の負担率差異の原因       3,541 百分         支際費等永久に損金に算入されない項目ののよりでは要求を表点に損金に算入されない項目のよりでは要求を表点に損金に算入されない項目のよりでは要求を表点に損金に算入されない項目のよりでは表示の表面に算分されない項目のよりでは表示の表面に算分されない項目のよりでは表示の表面に算分されない項目のよりでは表示の表面に対しまます。       1       1         住民税等割等       0.1       住民税等均等割等       0         位民税等均等割等       0       税率変更による期末繰延税金資産の減額修正       1	第48期 (平成14年 3 月31日現在)	
貸倒引当金繰入超過額否認57 " 買与引当金繰入超過額否認貸倒引当金繰入超過額否認71 買与引当金繰入超過額否認試験研究費否認335 " 試験研究費否認試験研究費否認454 	1.繰延税金資産の発生の主な原因別内訳	
差異の原因       差異の原因         法定実効税率       42.1%         (調整)       (調整)         交際費等永久に損金に算入されない項目       2.3         受取配当金等永久に損金に算入されない項目       0.1         住民税均等割等       0.2         税率変更による期末繰延税金資産の減額修正       1	貸倒引当金繰入超過額否認 賞与引当金繰入超過額否認 試験研究費否認 退職給付引当金繰入超過額否認 役員退職慰労引当金否認 その他有価証券評価差額金 その他	474 " 454 " 581 " 372 " 747 "
	差異の原因 法定実効税率 (調整) 交際費等永久に損金に算入されない項目 受取配当金等永久に損金に算入されない項目 住民税均等割等 その他	42.1%  1.6 0.9 正 1.5 1.1 45.0%  年法律第9号)が ハ、当事業年度の ただし、平成16年 る。)に使用した ら40.5%に変更さ

### (1株当たり情報)

第48期 (自 平成13年4月1日 至 平成14年3月31日)		第49期 (自 平成14年4月1日 至 平成15年3月31日)	
1 株当たり純資産額 1 株当たり当期純利益金額 潜在株式調整後 1 株当たり当期純利益金額	4,404円15銭 138円67銭 133円18銭	1株当たり純資産額 1株当たり当期純利益金額 1株当たり当期純利益金額 潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額 当事業年度より「1株当たり当期純利益に関 (企業会計基準第2号)及び「1株当たり当期組会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針をしております。なお、同会計基準及び適用指針を適用して算定した場合の1株当たりの情報についるよりとなります。	純利益に関する 第4号)を適用 を前事業年度に
		1株当たり純資産額 1株当たり当期純利益金額 潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額	4,402円02銭 136円59銭 131円41銭

### (8)役員の異動

役員の異動(平成15年6月27日付予定)

1.新任取締役候補

 取 締 役
 波 田 祥 吾
 (現 執行役員 海外営業本部副本部長兼米州営業部長)

 取 締 役
 尾 形 純 一
 (現 人事部長)

2.新任監查役候補

常勤監査役 吉原和子 (現経理部次長) 監査役(社外監査役) 鈴木 瀧夫 (公認会計士)

3. 退任予定取締役

羽 山 昇 (現 取締役会長) 西村 雅夫 (現 専務取締役) 池田常雄 (現 取締役相談役) 川北博 (現 取締役) 神田惠仁 (現取締役)

4. 退任予定監查役

(現 常勤監査役) 滝田納言 山田 弘道 (現 常勤監査役) 今村 武彦 (現 監査役)

この決算短信は、再生紙を利用し、当社のリソグラフで印刷いたしました。